

2023年度

エコアクション21 環境経営レポート

運用期間 2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日
発行日 2024年10月 1日

総合建設業
株式会社 河崎組



KAWASAKI GROUP
人と自然のHARMONY

目次	p.1
企業理念・環境経営方針	p.2
事業の概要	p.3
組織図	p.4
環境経営目標・取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画	
2023年度環境経営計画の実績	
〔環境経営方針〕 二酸化炭素排出量削減 ■ 二酸化炭素排出量 事業所・作業所別、エネルギー項目別	p.5
〔環境経営目標〕 電力使用量の削減 ■ 電力使用量・二酸化炭素排出量	p.6
〔環境経営目標〕 ガソリン使用量の削減 ■ ガソリン使用量・二酸化炭素排出量	p.6
〔環境経営目標〕 軽油使用量の削減 ■ 軽油使用量・二酸化炭素排出量	p.7
〔環境経営目標〕 灯油使用量の削減 ■ 灯油使用量・二酸化炭素排出量	p.7
〔環境経営目標〕 重油使用量の削減 ■ 重油使用量・二酸化炭素排出量	p.8
〔環境経営目標〕 ガス使用量の削減 ■ 都市ガス、LPガス使用量・二酸化炭素排出量	p.8
〔環境経営方針〕 廃棄物排出量の削減	p.9
〔環境経営目標〕 建設廃棄物排出量の削減及び再資源化率の向上 ■ 産業廃棄物排出量、産業廃棄物リサイクル率	
〔環境経営目標〕 一般廃棄物排出量の削減 ■ 一般廃棄物排出量	p.10
〔環境経営方針〕 節水	p.10
〔環境経営目標〕 水資源の節約 ■ 水使用量の削減	
〔環境経営方針〕 省資源	p.11
〔環境経営目標〕 化学物質使用量の適正管理 ■ 化学物質使用量	p.11
〔環境経営方針〕 現場周辺の環境	p.12
〔環境経営目標〕 創意工夫(自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目) ■ 創意工夫 一周辺環境への配慮に対する取組ー ■ 創意工夫 一環境に配慮した施工機械に関する工夫ー	p.13
環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無 ■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 ■ 違反、訴訟の有無	p.14
代表者による全体の評価と見直し・指示	p.14

当社は「人と自然の *HARMONY*」をテーマとし、調和を重んじることにより事業を展開し、同時にSDGs(持続可能な開発目標)のアジェンダを積極的に取り入れ、地域社会へ貢献する。

環境経営方針

当社は「人と自然の *HARMONY*」をテーマに “地球に優しい環境づくりのため、地球に密着した快適な社会づくり” を目指し貢献してきました。

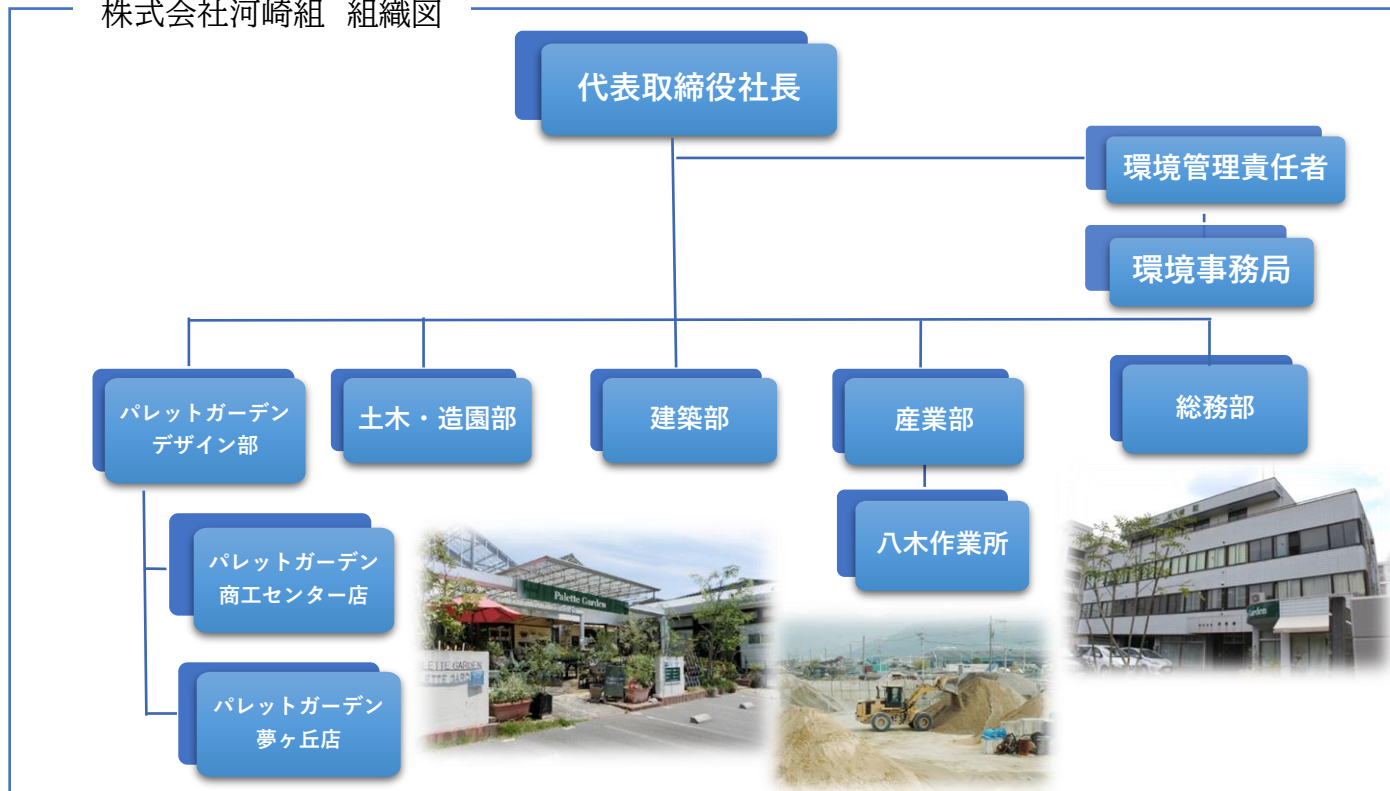
今後、ますます深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇への対応が共通の重要な課題との認識にたち、河崎組の事業活動における環境負荷の低減を図るため、社員一丸となって、自主的・積極的に環境保全活動に取り組めます。





事業所名及び代表者名	株式会社 河崎組 代表取締役 奥田 耕一 https://www.kawasaki-group.com												
所在地	本社 広島県広島市東区牛田新町2丁目4-19 八木作業所 広島県広島市安佐南区八木町181 パレットガーデンデザイン部夢ヶ丘店 広島県呉市押込西平町20-19 パレットガーデンデザイン部商工センター店 広島県広島市西区草津新町2丁目14-21 産業部 広島県広島市安芸区矢野新町2丁目19												
環境管理責任者及び担当者	環境管理責任者 岩田 昭彦 環境管理担当者 草間 篤												
主な事業内容	土木構造物・建築物の設計及び施工・解体 緑化・造園の設計、施工及び維持管理 庭園資材の販売 建設骨材の製造及び販売												
事業の規模	創立年月日 1948年3月28日 資本金 1 億円 工事等の件数 553件 売上高 338,698万円 従業員 90人（社員87人、パート3人）内、エコアクション21対象者 90人 床面積 1,060.66㎡												
認証・登録の範囲 及び事業活動	《 認証・登録の範囲 》 本社、八木作業所、パレットガーデン夢ヶ丘店、パレットガーデン商工センター店、産業部 上記全社、全従業員、全事業活動を対象とする。 《 事業活動 》 土木構造物・建築物の設計及び施工・解体、緑化・造園の設計・施工及び維持管理、 庭園資材の販売、建設骨材の製造及び販売、産業廃棄物収集運搬業												
認定事項	◇建設業許可 - 土木工事業 - 大工工事業 - とび、土工工事業 - 屋根工事業 - 鋼構造物工事業 - 舗装工事業 - 板金工事業 - 塗装工事業 - 内装仕上工事業 - 造園工事業 - 水道施設工事業 - 建築工事業 - 左官工事業 - 石工事業 - タイル、れんが、ブロック工事業 - 鉄筋工事業 - しゅんせつ工事業 - ガラス工事業 - 防水工事業 - 熱絶縁工事業 - 建具工事業 - 解体工事業 ◇一級建築士事務所登録 ◇ISO 9001取得（認証範囲：土木・造園部、建築部、パレットガーデンデザイン部） ◇産業廃棄物収集運搬業許可（積替え・保管は含まない。） <table border="1"> <tr> <td>許可番号</td><td>第03409044627号</td></tr> <tr> <td>許可年月日</td><td>令和3年12月19日</td></tr> <tr> <td>許可の有効年月日</td><td>令和8年12月18日</td></tr> <tr> <td>運搬車両の種類、台数</td><td>ダンプ：7台（2t×5台、1.95t×1台、1.3t×1台） キャブオーバー：2台（3t、0.35t）</td></tr> <tr> <td>事業の範囲 （産業廃棄物の種類）</td><td>汚泥 廃プラスチック 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って 生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント 配線板 廃石膏ボード 廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、 廃ブラウン管 鉛蓄電池の電極 鉛製の管又は板 自動車等破砕物 水銀使用製品産業廃棄物 水銀含有ばいじん等 判定基準に適合しない もの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</td></tr> <tr> <td>受託した産業廃棄物収集運搬量</td><td>2023年度実績 木くず 9.0（t）、がれき類 43.2（t）</td></tr> </table>	許可番号	第03409044627号	許可年月日	令和3年12月19日	許可の有効年月日	令和8年12月18日	運搬車両の種類、台数	ダンプ：7台（2t×5台、1.95t×1台、1.3t×1台） キャブオーバー：2台（3t、0.35t）	事業の範囲 （産業廃棄物の種類）	汚泥 廃プラスチック 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って 生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント 配線板 廃石膏ボード 廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、 廃ブラウン管 鉛蓄電池の電極 鉛製の管又は板 自動車等破砕物 水銀使用製品産業廃棄物 水銀含有ばいじん等 判定基準に適合しない もの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）	受託した産業廃棄物収集運搬量	2023年度実績 木くず 9.0（t）、がれき類 43.2（t）
許可番号	第03409044627号												
許可年月日	令和3年12月19日												
許可の有効年月日	令和8年12月18日												
運搬車両の種類、台数	ダンプ：7台（2t×5台、1.95t×1台、1.3t×1台） キャブオーバー：2台（3t、0.35t）												
事業の範囲 （産業廃棄物の種類）	汚泥 廃プラスチック 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って 生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント 配線板 廃石膏ボード 廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、 廃ブラウン管 鉛蓄電池の電極 鉛製の管又は板 自動車等破砕物 水銀使用製品産業廃棄物 水銀含有ばいじん等 判定基準に適合しない もの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）												
受託した産業廃棄物収集運搬量	2023年度実績 木くず 9.0（t）、がれき類 43.2（t）												

株式会社河崎組 組織図



役割・責任・権限

代表者（社長）	① 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ② 年度部長環境目標管理表の承認 ③ EA21に関するすべての責任と権限 ④ 環境管理責任者を任命 ⑤ 代表者による全体の評価と見直しのレビュー ⑥ 環境経営レポートの承認 ⑦ 環境経営計画書の承認 ⑧ EA21を運用し、維持するための経営資源（人、（時間・技能・知識）、もの（設備・インフラ）、資金（設備投資・教育投資）、情報（顧客ニーズ・技術情報など）の用意 ⑨ 経営に関する課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	① 環境経営計画書の作成 ② EA21の運営と実施及び社長への報告 ③ 集合教育計画兼実施報告書の作成、実施 ④ 経営会議、品質管理委員会、推進委員会等を通じてEA21に関連する事項を伝達 ⑤ 環境経営計画の取組・達成状況の評価・記録と社長への報告 ⑥ 環境経営レポートの作成 ⑦ 環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）の登録承認
環境事務局	① 環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）の登録作成 ② 環境経営システム組織図作成 ③ 環境経営レポートの原案作成、公開 ④ 環境への負荷の自己チェック表の作成 ⑤ EA21に関連する必要な文章の作成、改廃の管理 ⑥ 環境経営計画、中期目標を設定
部門長	① 年度部長環境目標管理表の作成・実施、社長へ報告 ② 環境経営計画を実行 ③ 緊急事態への対応のための想定結果及び対応策 ④ 部門の問題点の発見、是正処置、予防処置 ⑤ 自部門におけるEA21システムの実施 ⑥ 環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）の順守評価承認
全従業員	① 当社の環境経営方針、環境経営目標・環境経営計画に従って実行 ② 環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）の順守評価 ③ 外部コミュニケーションの窓口

■二酸化炭素排出量削減



2023年度 環境経営計画の実績【二酸化炭素排出量 事業所・作業所別】

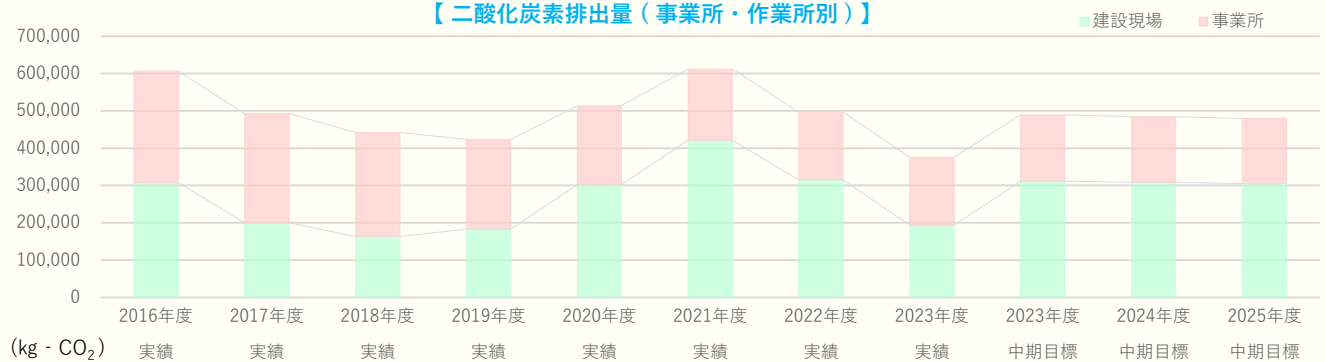
取組内容（2023年度・次年度）については、環境経営目標の項目ごとに記載します。
二酸化炭素排出量削減の取組結果については、以下をご参照ください。

2023年度～2025年度中期目標は、二酸化炭素排出量削減については2022年度実績を基準として1%減/年、その他については、各項目ごと定性的に設定

【事業所・建設現場別】

二酸化炭素排出量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg・CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	298,822.25	292,942.23	278,825.68	240,442.94	211,718.60	190,887.85	181,389.08	182,676.18	177,510.00	175,732.00	173,973.00
建設現場	307,965.57	200,175.19	163,325.23	182,877.97	302,295.54	421,350.82	315,035.38	193,233.16	311,891.00	308,771.00	305,687.00
合 計	606,787.82	493,117.42	442,150.91	423,320.91	514,014.14	612,238.67	496,424.46	375,909.34	489,401.00	484,503.00	479,660.00

【二酸化炭素排出量（事業所・作業所別）】



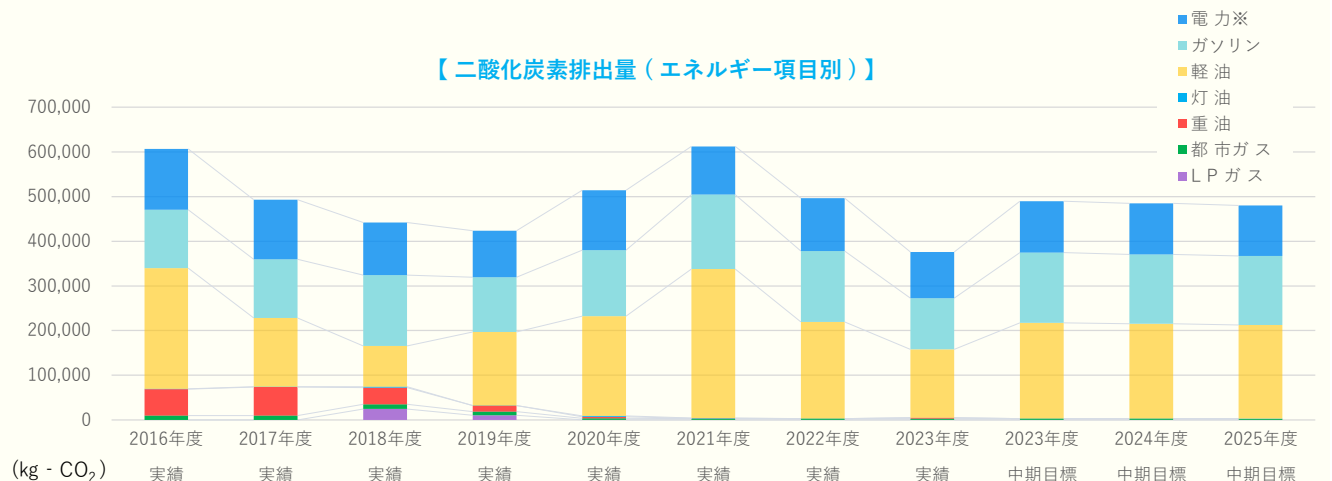
2023年度 環境経営計画の実績【二酸化炭素排出量 エネルギー項目別】

【エネルギー項目別】

※ 中国電力（株）調整後排出係数 0.636

二酸化炭素排出量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg・CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
電力※	136,023.22	133,411.82	117,661.91	104,066.14	133,826.48	107,960.99	118,250.20	103,306.12	115,004.00	113,854.00	112,714.00
ガソリン	130,893.00	131,319.20	158,987.00	122,644.23	147,825.43	166,334.46	158,778.23	114,695.18	157,191.00	155,619.00	154,064.00
軽油	270,547.70	153,951.80	91,352.00	164,078.17	223,528.16	333,496.12	216,209.39	152,715.41	214,051.00	211,909.00	209,793.00
灯油	184.00	773.30	2,045.00	430.80	1,623.01	707.16	491.35	0.00	488.00	483.00	478.00
重油	59,314.00	63,956.00	37,005.00	13,805.56	3,352.27	476.96	0.00	2,200.52	0.00	0.00	0.00
都市ガス	9,825.90	9,705.30	10,681.00	8,031.01	3,743.28	3,149.28	2,615.76	2,913.84	2,588.00	2,560.00	2,534.00
LPGガス	—	—	24,419.00	10,265.00	115.51	113.70	79.53	78.27	79.00	78.00	77.00
合 計	606,787.82	493,117.42	442,150.91	423,320.91	514,014.14	612,238.67	496,424.46	375,909.34	489,401.00	484,503.00	479,660.00

【二酸化炭素排出量（エネルギー項目別）】



■二酸化炭素排出量削減

2023年度 環境経営計画の実績【電力使用量の削減】

【電力使用量】

【電力】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kWh	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	201,207.00	202,095.00	163,630.00	140,642.00	127,433.00	128,772.00	130,415.00	130,136.00	129,112.00	127,821.00	126,542.00
建設現場	12,666.00	7,672.00	21,373.00	22,984.00	82,986.00	40,978.00	55,513.00	32,295.00	54,958.00	54,408.00	53,864.00
合計	213,873.00	209,767.00	185,003.00	163,626.00	210,419.00	169,750.00	185,928.00	162,431.00	184,070.00	182,229.00	180,406.00

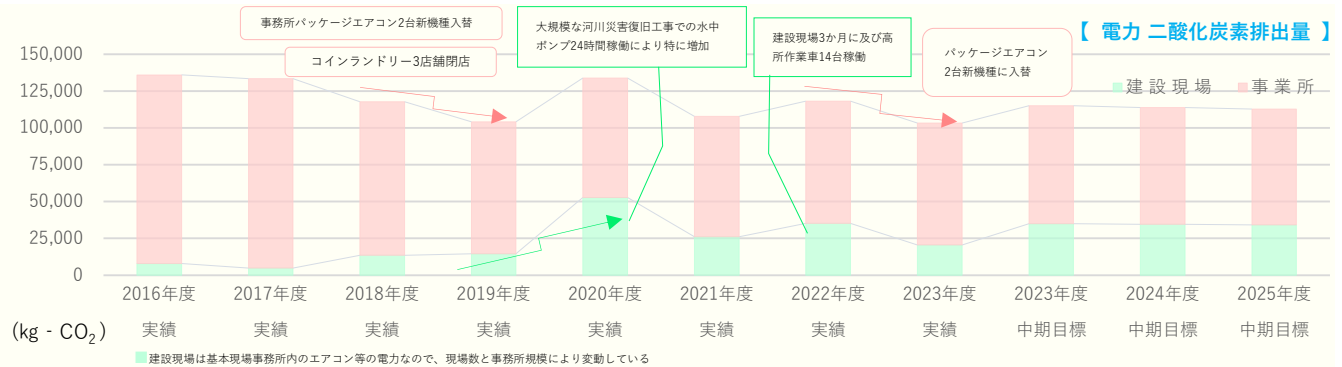
2023年度 取組内容

- 夜間・休日のOA機器、不使用機器の電源OFF
- 不要照明の消灯、エアコンの適切使用
- 現場で利用する機材について無駄な使用を省く。

【電力 二酸化炭素排出量】

● 購入電力：中国電力（株）調整後排出係数 0.636

【電力】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	127,967.65	128,532.43	104,068.68	89,448.32	81,047.39	81,898.99	82,943.93	82,766.50	80,050.00	79,250.00	78,456.00
建設現場	8,055.57	4,879.39	13,593.23	14,617.82	52,779.09	26,062.00	35,306.27	20,539.62	34,954.00	34,604.00	34,258.00
合計	136,023.22	133,411.82	117,661.91	104,066.14	133,826.48	107,960.99	118,250.20	103,306.12	115,004.00	113,854.00	112,714.00



2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度電力使用量の削減取組結果は目標達成です。目標達成手段の取り組みにより、電力使用量削減に努めたこと、また、前年度に比べ建築部の現場での使用が少なかったことが要因です。引き続き環境活動の取り組みを行います。

次年度 取組内容

- 夜間・休日のOA機器、不使用機器の電源OFF
- 不要照明の消灯、エアコンの適切使用
- 現場で利用する機材について無駄な使用を省く。

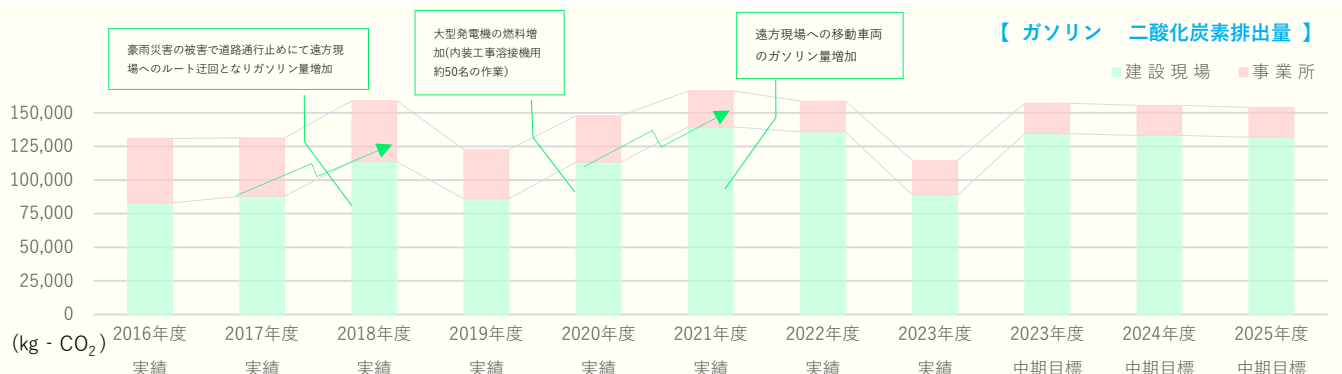
2023年度 環境経営計画の実績【ガソリン使用量の削減】

【ガソリン使用量】

【ガソリン】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
L	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	20,622.70	18,704.58	19,452.74	15,731.37	14,901.47	11,549.01	9,906.70	11,105.16	9,808.00	9,709.00	9,612.00
建設現場	35,796.60	37,898.52	49,027.25	37,094.73	48,816.40	60,146.88	58,532.19	38,332.42	57,947.00	57,368.00	56,795.00
合計	56,419.30	56,603.10	68,479.99	52,826.10	63,717.87	71,695.89	68,438.89	49,437.58	67,755.00	67,077.00	66,407.00

【ガソリン 二酸化炭素排出量】

【ガソリン】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	47,844.80	43,394.70	45,163.00	36,522.89	34,571.41	26,793.70	22,983.54	25,763.97	22,754.00	22,525.00	22,299.00
建設現場	83,048.20	87,924.50	113,824.00	86,121.34	113,254.02	139,540.76	135,794.69	88,931.21	134,437.00	133,094.00	131,765.00
合計	130,893.00	131,319.20	158,987.00	122,644.23	147,825.43	166,334.46	158,778.23	114,695.18	157,191.00	155,619.00	154,064.00



2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度ガソリン使用量の削減取組結果は、目標達成です。全体的に遠方の現場が少なかった為、大きく目標を下回る結果となっています。引き続き環境活動の取り組みを行います。

次年度 取組内容

- エコドライブ、アイドリングストップ（トラック・車両）
- 車両の乗り合わせ推奨・渋滞の回避（目的地までの最短ルートを通る）
- 冷暖房の控え目使用

■二酸化炭素排出量削減

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2023年度 環境経営計画の実績【軽油使用量の削減】

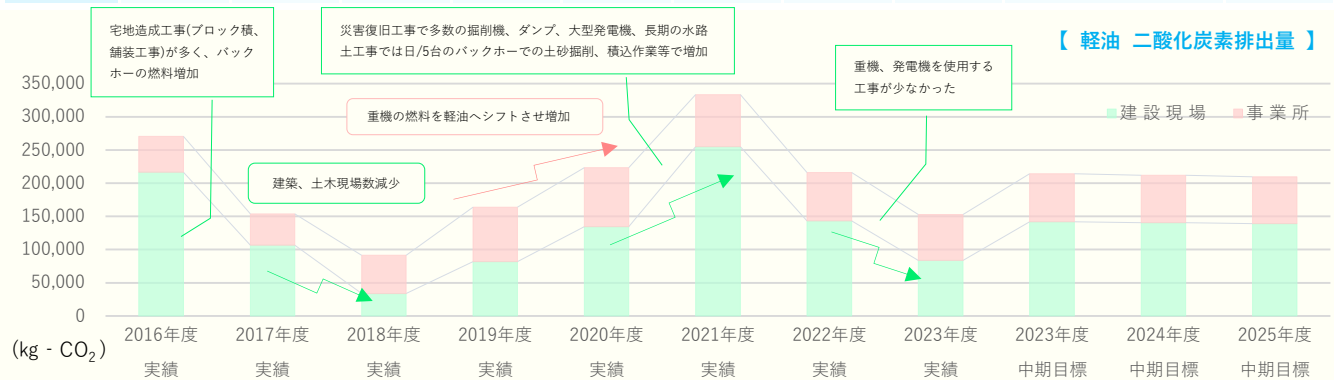
【軽油使用量】

【軽油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
L	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	20,561.00	18,074.00	21,906.00	31,387.00	34,453.00	30,409.00	28,204.00	26,726.00	27,922.00	27,643.00	27,367.00
建設現場	82,701.50	42,967.30	12,903.67	31,134.69	52,185.82	98,853.06	55,598.09	32,466.02	55,043.00	54,492.00	53,948.00
合計	103,262.50	61,041.30	34,809.67	62,521.69	86,638.82	129,262.06	83,802.09	59,192.02	82,965.00	82,135.00	81,315.00

2023年度 取組内容
●アイドリングストップ（トラック・重機・車両）
●低燃費機械の選定使用

【軽油 二酸化炭素排出量】

【軽油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	53,869.90	47,353.80	57,489.00	82,370.16	88,888.74	78,455.22	72,766.32	68,953.08	72,039.00	71,319.00	70,607.00
建設現場	216,677.80	106,598.00	33,863.00	81,708.01	134,639.42	255,040.90	143,443.07	83,762.33	142,012.00	140,590.00	139,186.00
合計	270,547.70	153,951.80	91,352.00	164,078.17	223,528.16	333,496.12	216,209.39	152,715.41	214,051.00	211,909.00	209,793.00



2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度軽油使用量の削減取組結果は目標達成です。前年度に比べ、現場での重機や発電機の使用が減少、また産業部の重機の燃料を一時的に軽油から重油へ切り替えたことが要因です。引き続き環境活動の取り組みを行います。

次年度 取組内容

- アイドリングストップ（トラック・重機・車両）
- 低燃費機械の選定使用

2023年度 環境経営計画の実績【灯油使用量の削減】

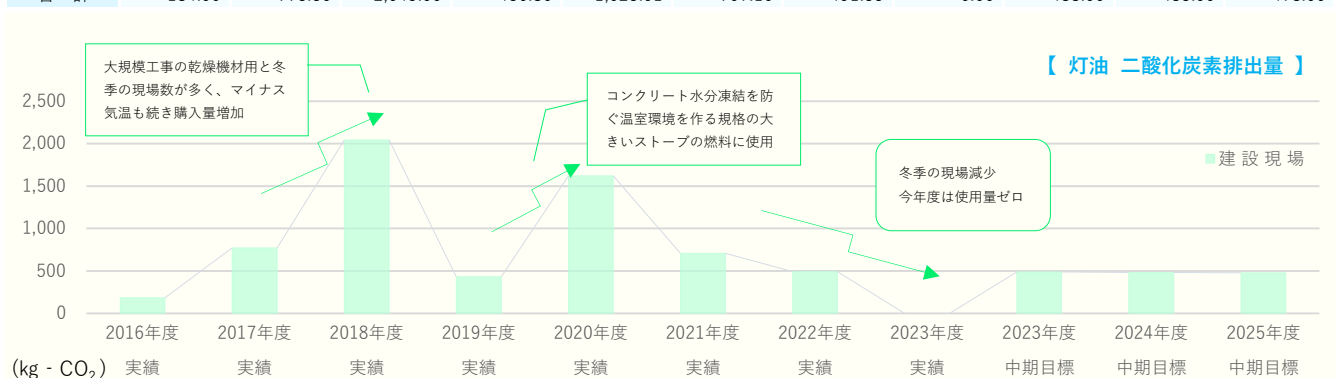
【灯油使用量】

【灯油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
L	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所											
建設現場	74.00	515.50	820.51	172.88	651.81	284.00	197.33	0.00	196.00	194.00	192.00
合計	74.00	515.50	820.51	172.88	651.81	284.00	197.33	0.00	196.00	194.00	192.00

2023年度 取組内容
●暖房機器の適切使用

【灯油 二酸化炭素排出量】

【灯油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所											
建設現場	184.00	773.30	2,045.00	430.80	1,623.01	707.16	491.35	0.00	488.00	483.00	478.00
合計	184.00	773.30	2,045.00	430.80	1,623.01	707.16	491.35	0.00	488.00	483.00	478.00



2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度灯油使用量の削減取組結果は、目標達成です。今年度は使用実績が有りませんでしたが、2024年度に使用がある場合は、引き続き暖房機器の適切使用に取り組めます。

次年度 取組内容

- 暖房機器の適切使用

■二酸化炭素排出量削減

2023年度 環境経営計画の実績【重油使用量の削減】

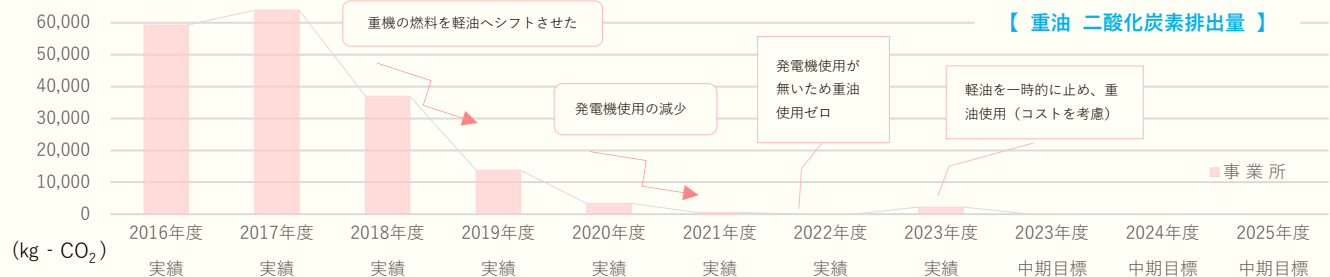
2023年度 取組内容 ●使用予定なし

【重油使用量】

【重油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
L	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	21,887.00	23,600.00	13,657.00	5,095.00	1,237.00	176.00	0.00	812.00	0.00	0.00	0.00
建設現場											
合計	21,887.00	23,600.00	13,657.00	5,095.00	1,237.00	176.00	0.00	812.00	0.00	0.00	0.00

【重油 二酸化炭素排出量】

【重油】	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	59,314.00	63,956.00	37,005.00	13,805.56	3,352.27	476.96	0.00	2,200.52	0.00	0.00	0.00
建設現場											
合計	59,314.00	63,956.00	37,005.00	13,805.56	3,352.27	476.96	0.00	2,200.52	0.00	0.00	0.00



2023年度 取組結果とその評価【○目標未達成】

2023年度は、重油を使用しない予定でしたが、コストを考慮し、産業部の重機の燃料を軽油から重油へ切り替えたため、結果的に目標未達成となっています。現在、重油を燃料とする機器類がないため、次年度より環境経営目標から「重油使用量の削減」を除外します。

2023年度 環境経営計画の実績【都市ガス・LPガス使用量の削減】

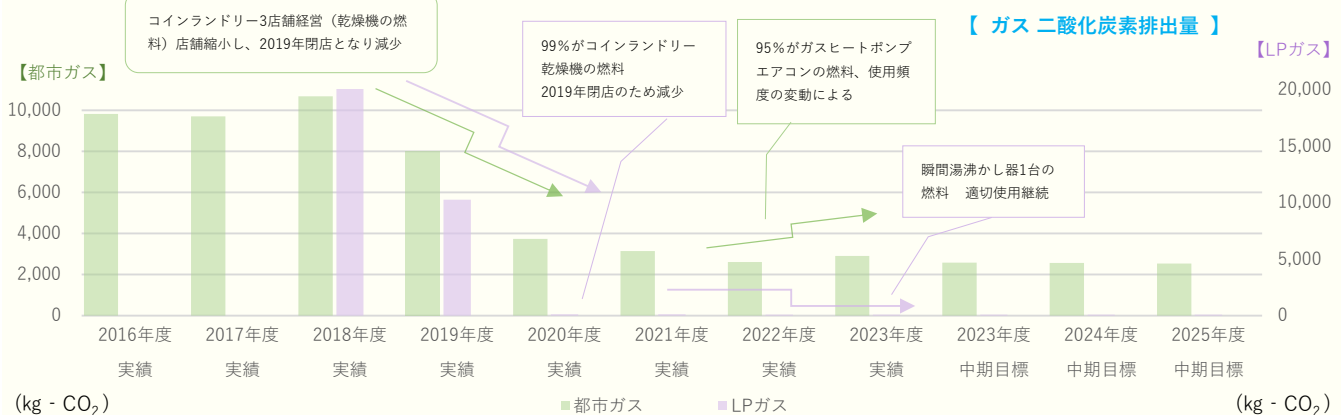
2023年度 取組内容 ●瞬間湯沸器の適切な温度設定
●ガスヒートポンプエアコンの適切使用（都市ガス）

【都市ガス・LPガス使用量】※事業所

【ガス】※	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
m ³	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
都市ガス	8,403.30	4,666.00	5,066.00	3,809.00	1,733.00	1,458.00	1,211.00	1,349.00	1,198.00	1,185.00	1,173.00
LPガス	—	—	3,929.60	1,651.90	18.60	18.30	12.80	12.60	12.70	12.60	12.50

【都市ガス・LPガス 二酸化炭素排出量】※事業所

【ガス】※	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg-CO ₂	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
都市ガス	9,825.90	9,705.30	10,681.00	8,031.01	3,743.28	3,149.28	2,615.76	2,913.84	2,588.00	2,560.00	2,534.00
LPガス	—	—	24,419.00	10,265.00	115.51	113.70	79.53	78.27	79.00	78.00	77.00



2023年度 取組結果とその評価【×都市ガス目標未達成】【○LPガス目標達成】

2023年度ガス使用量の削減取組結果は、都市ガス目標未達成、LPガス目標達成です。都市ガスについては、ガスヒートポンプエアコンを使用する事務所を日中も使用することになり、使用量が増えています。LPガスについては、目標達成手段の取り組みの結果、使用量が減っています。今後も適切使用に取り組みます。

次年度 取組内容

- 瞬間湯沸器の適切な温度設定
- ガスヒートポンプエアコンの適切使用（都市ガス）

■ 廃棄物排出量削減

2023年度 環境経営計画の実績【建設廃棄物排出量の削減及び再資源化率の向上】

2023年度
取組内容

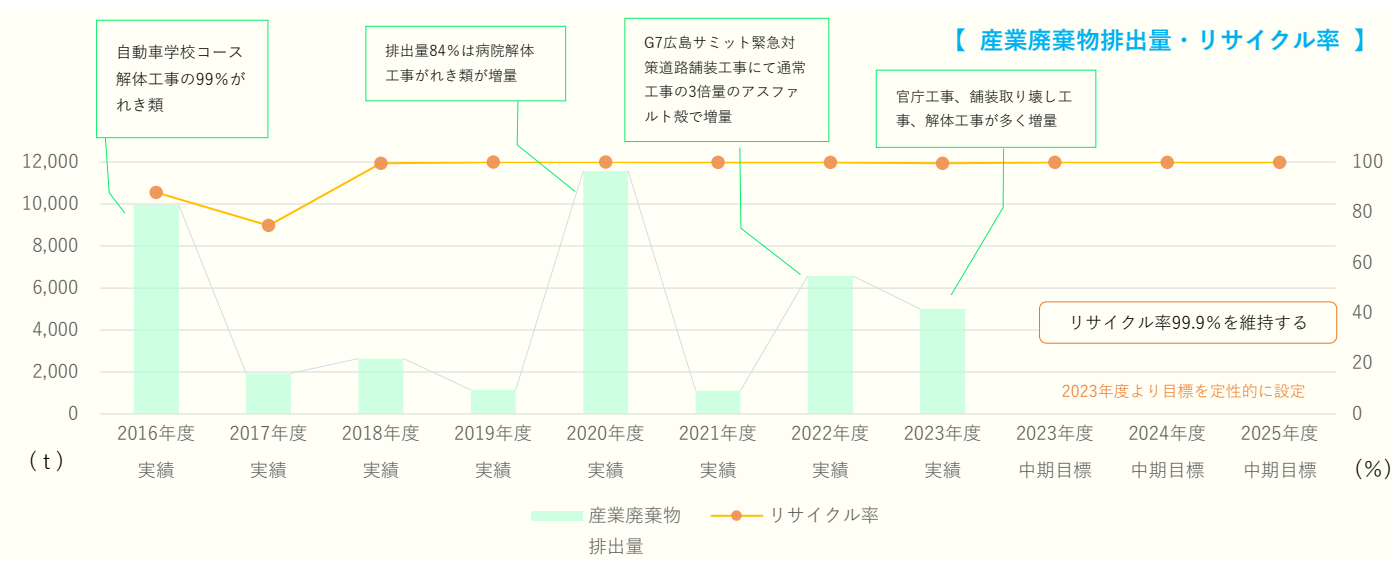
- 廃棄物の発生抑制のため、発注数量の適量化
- 紙、金属の有価物処理継続
- 包装、梱包材の削減
- 産業廃棄物のリサイクル処理100%の継続（石綿、混合ガラは除外品）

【産業廃棄物排出量】

産業廃棄物 排出量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
t	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所											
建設現場	9,964.900	1,932.340	2,633.590	1,136.080	11,582.744	1,112.680	6,566.140	4,995.810	リサイクル率99.9%を維持する		
合計	9,964.900	1,932.340	2,633.590	1,136.080	11,582.744	1,112.680	6,566.140	4,995.810	2023年度より目標を定性的に設定		

【産業廃棄物 リサイクル率】

リサイクル率	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
%	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
建設現場	88	74.8	99.5	100	100	99.9	99.9	99.5	99.9	99.9	99.9



【種類別・産業廃棄物排出量】

種類(t)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
がれき類	9,654.170	1,727.240	2,543.150	1,112.320	9,759.340	994.720	6,454.090	4,343.060
廃プラスチック	21.400	5.940	1.360	5.150	84.425	29.680	25.180	27.000
紙くず	5.400	10.710	4.650	3.300	1.800	0.480	2.470	0.900
木くず	279.330	152.800	80.790	14.930	91.530	39.620	48.290	60.740
廃石膏ボード	4.000	25.500	0.100	0.000	78.100	0.500	0.000	3.500
金属くず	0.000	10.150	3.360	0.380	1.579	0.000	1.510	0.220
建設汚泥	0.000	0.000	0.000	0.000	269.920	20.920	23.430	518.600
廃油	0.000	0.000	0.000	0.000	1,260.000	0.000	0.000	0.000
石綿含有産業廃棄物	0.600	0.000	0.000	0.000	11.000	1.000	0.000	0.000
繊維くず	0.000	0.000	0.180	0.000	0.400	0.060	0.000	0.000
ガラス・陶器くず	0.000	0.000	0.000	0.000	21.500	0.000	0.000	5.600
建設混合廃棄物	0.000	0.000	0.000	0.000	3.020	25.700	11.170	34.200
水銀使用製品産業廃棄物	0.000	0.000	0.000	0.000	0.130	0.000	0.000	0.000
特定有害汚泥	—	—	—	—	—	—	—	1.990
合計	9,964.900	1,932.340	2,633.590	1,136.080	11,582.744	1,112.680	6,566.140	4,995.810

2023年度 取組結果とその評価【× 目標未達成】

2023年度建設廃棄物排出量の削減及び再資源化率の向上の取組結果は、目標未達成です。建築部の解体工事で排出されたその他がれき類は、分別不可能な安定型品目のため埋立処分でした。再生可能な品目は、リサイクル業者への委託を100%実施しております。

次年度 取組内容

- 廃棄物の発生抑制のため、発注数量の適量化
- 紙、金属の有価物処理継続
- 包装、梱包材の削減
- 産業廃棄物のリサイクル処理100%の継続（石綿、安定型混合廃棄物、分別不可能ながれき類は除外品）

■ 廃棄物排出量削減

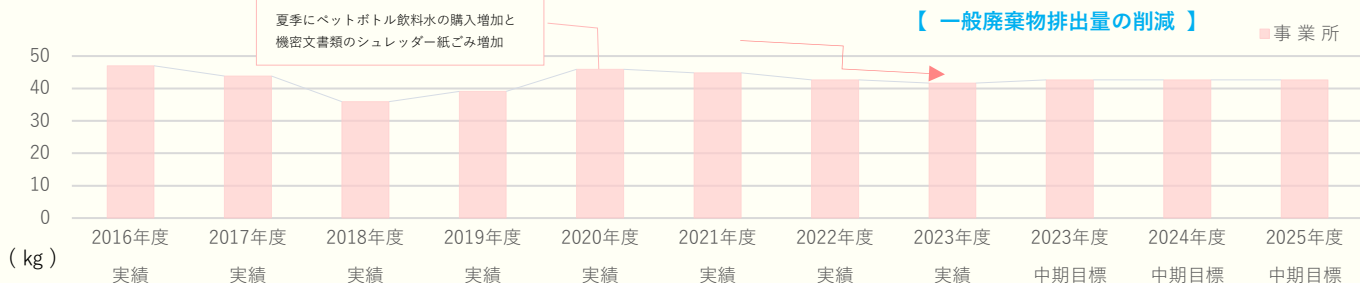
2023年度 環境経営計画の実績【一般廃棄物排出量の削減】

2023年度
取組内容

- ペーパーレスの推進、コピー用紙・封筒等の社内再利用、ミスプリントの防止
- 両面使用済みコピー用紙、シュレッダー済機密書類、新聞、雑誌、ペットボトル、瓶、缶のリサイクル処理による廃棄物減量化、ごみの分別を徹底する。

【一般廃棄物排出量】

一般廃棄物 排出量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
kg	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	47.00	43.80	35.93	39.08	45.91	44.80	42.69	41.63	前年度排出量以下を維持する		
建設現場											
合計	47.00	43.80	35.93	39.08	45.91	44.80	42.69	41.63	2023年度より目標を定性的に設定		



【一般廃棄物排出量（種類別）】

※2020年4月～プラスチック類（包装ビニール・ポリ袋・ポリ容器等）を「不燃ごみ」から区別

分類別 (kg)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	処分方法	再資源化率
紙（シュレッダー後）	8.56	9.02	7.03	10.69	10.89	13.58	9.88	12.37	再資源化	100%
段ボール	0.51	0.72	0.52	0.75	1.09	1.09	1.15	1.07		100%
新聞・雑誌	0.70	0.80	0.72	1.15	1.37	1.13	1.24	1.03		100%
カン・ビン	1.36	1.28	0.97	0.92	0.89	0.92	1.19	0.97		100%
ペットボトル	2.67	3.46	2.72	3.46	5.78	3.96	4.35	3.50	単純焼却	
可燃ごみ	29.05	24.84	20.66	19.24	19.43	18.88	18.62	17.69		
プラスチックごみ※					3.23	4.26	4.75	3.72	最終処分	
不燃ごみ※	4.15	3.68	3.31	2.87	3.23	0.98	1.51	1.28		
合計	47.00	43.80	35.93	39.08	45.91	44.80	42.69	41.63		

2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度一般廃棄物排出量の削減の取組結果は、目標達成です。目標達成手段の取り組みにより、目標の前年度排出量以下を維持しています。事業系一般廃棄物を可能な限り分別し、有効資源はリサイクル事業を遂行する業者へ回収依頼しています。引き続き排出量削減を意識して取り組みます。

次年度 取組内容

- ペーパーレスの推進
- コピー用紙、封筒等の社内再利用、ミスプリントの防止
- 両面使用済みコピー用紙、シュレッダー済機密書類、新聞、雑誌、ペットボトル、瓶、缶のリサイクル処理による廃棄物減量化
- ごみの分別を徹底する。

■ 節 水

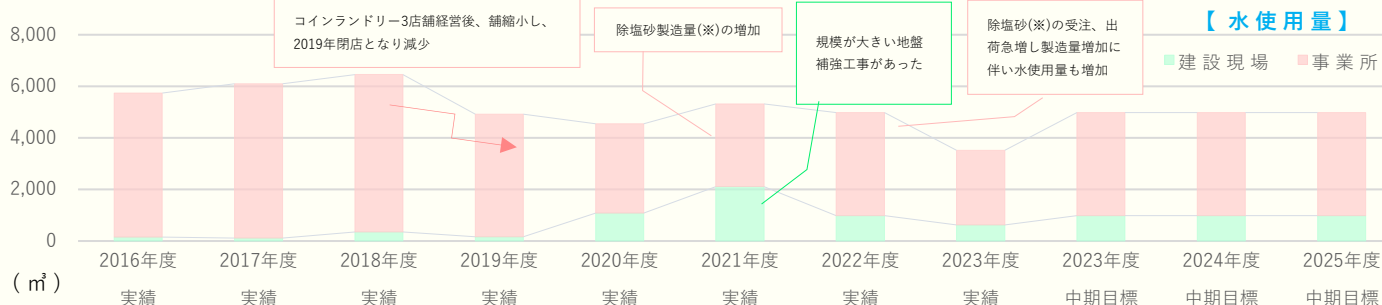
2023年度 環境経営計画の実績【水資源の節約】

2023年度
取組内容

- 事務所、作業現場、洗輪場の水道吐水量を少なくする。
- 水を出したままにせず、こまめに止める。
- 産業部での除塩砂生産の際に、タイマー使用による適切な使用

【水使用量】

水使用量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
m ³	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所	5,582.00	5,989.50	6,102.80	4,760.70	3,457.55	3,213.30	4,000.80	2,898.10	前年度使用量を超えないようにする		
建設現場	157.00	114.00	350.50	163.00	1,084.85	2,108.00	978.30	621.90			
合計	5,739.00	6,103.50	6,453.30	4,923.70	4,542.40	5,321.30	4,979.10	3,520.00	2023年度より目標を定性的に設定		



※除塩砂の生産は、海砂を真水で洗い流す塩分の除去作業、約1000(t)の海砂に対し約7～8時間水道水を使用（現在は、自動的に水量を調節・コントロールし、散水量を制御する給水装置を導入）

2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度水使用量の削減の取組結果は、目標達成です。産業部の除塩砂(※)の生産量が減少したことにより、水使用の機会が減ったため使用量が減少しています。引き続き目標達成手段の取り組みを継続します。

次年度 取組内容

- 事務所、作業現場、洗輪場の水道吐水量を少なくする。
- 水を出したままにせず、こまめに止める。
- 産業部での除塩砂生産の際に、タイマー使用による適切な使用

■ 省 資 源

2023年度 環境経営計画の実績 【 化学物質使用量の適正管理 】

植栽・造園工事の際に花・木害虫防除に使用する農業に含まれている化学物質量を把握します。
把握する化学物質は、PRTR制度対象物質（第一種指定化学物質※）です。

※ 第一種指定化学物質

- 人の健康を損なうおそれがあるもの
- 動植物の消息もしくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの
- オゾン層を破壊し、有害な紫外線が大量に地上に降り注ぎ、人の健康を損なうおそれがあるもの

【化学物質使用量】

化学物質使用量	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
L	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所											
建設現場	2.737	1.417	0.739	2.157	2.216	1.548	5.534	2.662	可能な限り、有害性の低い消毒や除草剤を使用し、適正管理を徹底する		
合計	2.737	1.417	0.739	2.157	2.216	1.548	5.534	2.662			

2023年度

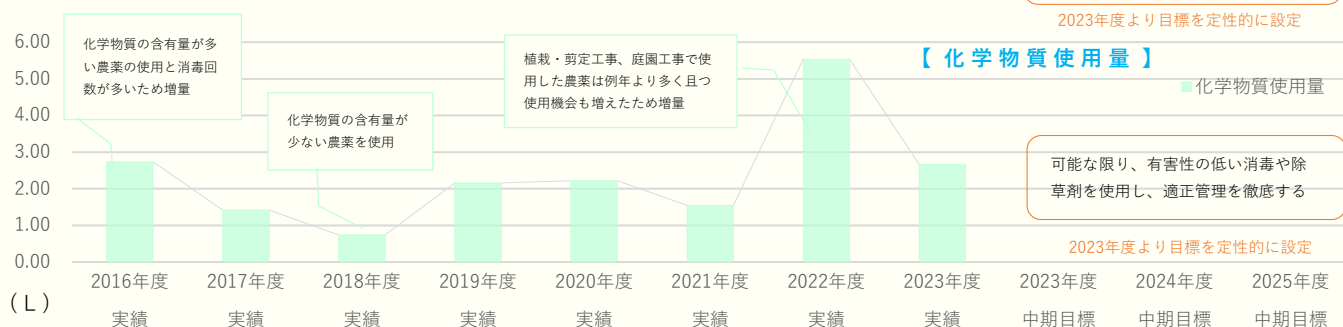
取組内容

●適切な使用量を確認する。

●正しい保管、管理を徹底する。

PRTR制度とは

どんな化学物質が、どこからどれだけ排出されているかを知るとともに、化学物質の排出量や化学物質による環境リスクを減らすための制度の1つ



【農業（殺虫剤・除草剤）の化学物質含有量】 ※PRTR制度第一種指定化学物質

農業名（種類）／含有化学物質名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	用途・特徴
カルホス乳剤 殺虫剤	1.750	2.050	2.310	2.910	2.500	1.550	4.450	2.000	花木の害虫防除
イソキサチオン PRTR対象物質	0.875			1.455	1.250	0.775	2.225	1.000	安全性が高い
エチルベンゼン PRTR対象物質	0.216	0.254	0.271	0.341	0.309	0.192	0.551	0.248	天然物誘導型の殺虫剤
キシレン PRTR対象物質	0.234	0.277	0.281	0.352	0.340	0.211	0.603	0.271	哺乳動物体内に蓄積しにくい
スミチオン乳剤 殺虫剤	0.500	0.050	0.030	0.010	0.000	0.100	0.330	0.050	花や庭木類の害虫退治
MEP PRTR対象物質	0.250	0.025	0.015	0.005	0.000	0.050	0.165	0.025	哺乳類、鳥類等に影響が少ない
エチルベンゼン PRTR対象物質	0.105	0.011	0.006	0.002	0.000	0.021	0.069	0.011	
キシレン PRTR対象物質	0.105	0.011	0.006	0.002	0.000	0.021	0.069	0.011	
ディブテックス 殺虫剤	1.700	1.500	0.300	0.000	0.300	0.500	0.050	0.100	庭園樹のケムシ退治等
DEP PRTR対象物質	0.850	0.750	0.150	0.000	0.150	0.250	0.025	0.050	薬害の危険性が少ない
ポリ PRTR対象物質	0.102	0.090	0.010	0.000	0.017	0.028	0.003	0.006	
オルトラン水和剤 殺虫剤	0.000	0.000	0.000	0.000	0.300	0.000	0.110	0.150	花類、芝の省力的な害虫防除
アセフェート PRTR対象物質	0.000	0.000	0.000	0.000	0.150	0.000	0.055	0.075	（効果の持続時間が長い）
ベンレート水和剤 殺菌剤							0.020	0.100	低濃度で使用できるので、作物を汚染することが少ない
ベノミル PRTR対象物質							0.010	0.050	
マラソン乳剤 殺虫剤							1.510	0.000	植物への薬害が少ない。
マラソン PRTR対象物質							0.755	0.000	園芸用殺虫剤
キシレン PRTR対象物質							0.302	0.000	水産動植物（甲殻類）に影響
エチルベンゼン PRTR対象物質							0.286	0.000	河川等に流出しないよう注意
ジマンダイセン水和剤 殺菌剤							0.500	0.000	病害対策
マンセブ PRTR対象物質							0.400	0.000	有用昆虫に対する影響が少ない
ヘキサメチレンテトラミン PRTR対象物質							0.016	0.000	
サンフーロン 除草剤								0.615	人や動物の健康へ悪影響及ぼさない
グリホサート PRTR対象物質								0.615	
ダコミール 殺菌剤								0.200	劇薬物に該当しない
TPN PRTR対象物質								0.200	
バックアップ粒剤 除草剤								3.000	緑地管理用
カルブチレート PRTR対象物質								0.100	
《合計》化学物質含有量（L）	2.737	1.417	0.739	2.157	2.216	1.548	5.534	2.662	

2023年度 取組結果とその評価【○目標達成】

2023年度化学物質使用量の適正管理の取組結果は、目標達成です。今年度の夏は前年度の夏に比べ殺虫剤や除草剤の使用量が少なかったため、算出した含有化学物量も減少となっています。引き続き適切な使用量を確認し、正しい保管、管理を徹底します。

次年度 取組内容

- 適切な使用量を確認する。
- 正しい保管、管理を徹底する。

■ 現場周辺の環境

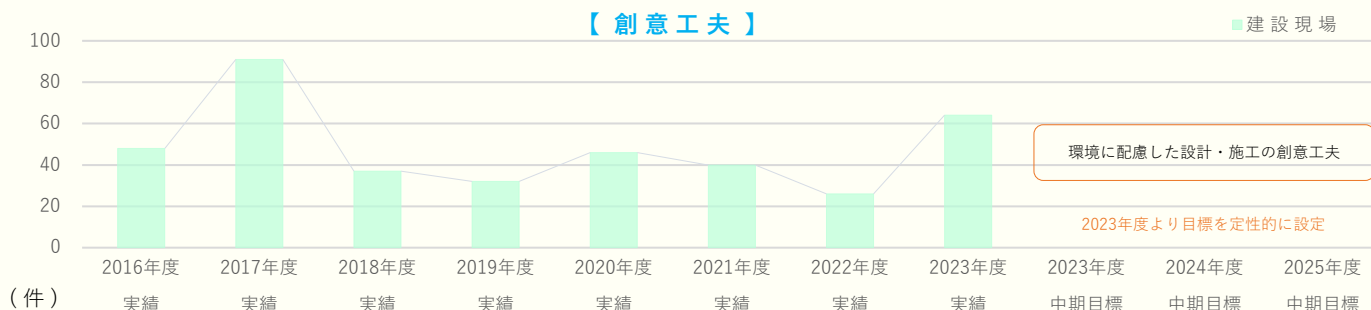
2023年度 環境経営計画の実績【創意工夫】（自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目）

【創意工夫】

2023年度 創意工夫による設計・施工環境の向上
取組内容

創意工夫	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	中期目標	中期目標	中期目標
件	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度
建設現場	48	91	37	32	46	40	26	64			
対象現場	6	11	12	7	8	10	7	12			

環境に配慮した設計・施工の創意工夫



2023年度 取組結果とその評価【○ 目標達成】

2023年度環境に配慮した設計・施工の創意工夫の取組結果は、目標達成です。環境に配慮した国土交通省認定機械を使用したり、橋梁（きょうりょう）の上部構造工事では、河川上流護岸からの湧水を濁水と分別して排水する等の工夫がありました。引き続き創意工夫による設計・施工環境の向上に取り組めます。

次年度 取組内容

●創意工夫による設計・施工環境の向上

取組の具体例 1

『超低騒音型、燃費基準100%達成建設機械、第3次基準値排出ガス対策型重機を使用』

中古車展示場、病院、ケアホームが隣接した工事現場であったため、掘削、埋め戻し作業に使用する重機は、生活環境に配慮し「超低騒音型」「第3次基準値排出ガス対策型」認定を受けた重機を選定しました。その結果、騒音等に関する苦情が発生することなく、工期内に完成させることができました。なお、この重機は「燃費基準100%達成建設機械」認定を受けており、二酸化炭素排出量を抑制することができました。



低騒音型建設機械の指定について



国土交通省では、建設工事に伴う騒音・振動対策として、騒音・振動が相当程度軽減された建設機械を「低騒音型・低振動型建設機械」として指定を行っています。「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づいています。

排出ガス対策型建設機械の指定について

国土交通省では、建設現場の作業環境の改善、機械施工が大气環境に与える負荷の低減を目的とし、1次規制から始まり2次規制、公道を走行しないバックホウ、フォークリフト、ブルドーザー等の排出ガスを規制する「第3次排出ガス対策型建設機械指定制度」を行い、現在は4次規制が開始されています。型式指定を受けた建設機械は、「排出ガス対策型建設機械」として表示することができます。



燃費基準達成建設機械の認定制度について

建設機械から排出される二酸化炭素の削減を目的に「燃費基準達成建設機械の認定に関する規程」を定め、この規程に基づき国土交通省が燃費基準値を達成した建設機械の認定をする制度です。認定された建設機械はラベル表示が可能です。今回使用した重機は、2020年度燃費基準達成率が100%以上の認定を受けた建設機械です。



■ 現場周辺の環境

取組の具体例 2

『湧水と工事現場から発生する濁水との分離処理』

橋梁（きょうりょう）の上部構造工事（※）現場の河川上流既設護岸から綺麗な湧水が常時湧き出ており、下流の濁水発生箇所に流れ込んでいきます。このままでは多量の濁水を常時発生させる事になる為、その湧水を工事現場手前上流の釜場に集め、農業用水路にポンプ排水しました。又、仮設水路・敷き鉄板を設置し、重機の通行による濁水発生を防止しました。河川と森の自然豊かな場所での工事であったため、環境への負荷を低減するよう取り組みました。



※ 橋梁（きょうりょう）の上部構造工事

橋梁とは、川や溪谷、海などを渡るために架けられる構造物の総称で、一般的には、「橋（はし）」といいます。人や車両を支えている路面部分より上を上部構造といい、橋の始点・終点を支える台の役割である橋台にコンクリート製の巨大な橋桁（約16m）をクレーンで並べていく工事を行いました。最終的に橋桁上がアスファルト舗装され、橋に道路と歩道が完成します。



環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

2023年度、当社に適用される環境関連法規等の一覧及び遵守状況を確認した結果は、以下のとおりです。

環境法令の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○委託基準：一廃収集業者の許可の確認 ○委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約 ○保管基準 ・揭示板（60cm×60cm以上表示 ・飛散・浸透防止 ・衛生管理 ○マニフェスト交付 ○特別管理産業廃棄物管理責任者の設置 ○特別管理廃棄物の帳簿の作成 ○多量排出事業者処理計画書及び実施状況報告書の提出（1000トン以上/年） ○産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ○産業廃棄物処理実績報告書【収集運搬業】の提出（報告依頼無し） ○自社による運搬時の表示、書類携行 ○蛍光灯の保管置き場の仕切りを設ける等の措置	違反なし
騒音規制法	○特定建設作業の届出	違反なし
振動規制法	○特定建設作業の届出	違反なし
フロン排出抑制法	○機器設置に関する義務 ・設置場所の周辺に損傷の原因がないこと ・点検及び修理のための必要な空間の確保 ○点検の実施・記録の保存 ・簡易点検：1回以上/3ヶ月 ・定期点検：1回以上/3年（該当機器無し） ○第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務 ○第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等 ・フロン類回収時の「回収依頼書」等の書面の管理	違反なし
建設リサイクル法	○再生資源利用促進計画書 ○再生資源利用計画書	違反なし
広島県土砂の適正処理に関する条例	○土砂搬出の届出 ・搬出する土砂の数量の合計が500立方メートル以上 ・一時堆積場からの搬出は月間の搬出量が500立方メートル以上	違反なし

■ 違反、訴訟の有無

2023年度環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘、訴訟も過去3年間ありません。

これからも、「環境関連法規制等の取りまとめ表」に基づき、コンプライアンス遵守に努めます。

代表者による全体の評価と見直し・指示

■ 全体の評価

目標達成手段の取り組みや現場での使用量の減少があり、ほとんどの項目で目標を達成しています。今年度は、国土交通省認定の環境配慮型建設機械を使用するなど、現場周辺の環境と地域社会へ配慮した取り組みを行いました。

■ 見直し

環境経営計画の活動結果については、大きな問題はありませんでした。次年度も引き続き、環境経営方針を維持し、環境経営目標の達成に向けて、取り組みを継続していきます。